

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Tryジュニア武蔵浦和			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 10月 31日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	普段生活している集団においての困り事が、訪問先にいくことで課題をその場でみることができる。	訪問先での課題共有、助言を行うことで、療育の支援に生かしている。	訪問先の先生とコミュニケーションを密にし、事業所、家庭、集団生活において、より良い支援ができるようにしていく。
2	訪問先の様子を踏まえて、放課後デイ、児童発達支援での療育に取り組むことができる。	訪問先、家庭、保護者と情報共有を密にし、自宅でもできることは取り組んでもらっている。	訪問先の先生とコミュニケーションを密にし、事業所、家庭、学校・園の三方で、役割分担をし、それぞれができることを増やしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先が増えるにつれて、希望されている日程、時間帯に訪問することが難しくなってきた。	職員の配置。訪問支援員の人員不足。	職員配置を検討し、落ち着いている児童に対しては、間隔をあけて訪問にいくなど検討していく。
2			
3			